

## 第14回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和4年12月19日(月)  
開会13時30分 閉会14時21分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- |              |            |
|--------------|------------|
| 教育長          | 鍵本 芳明      |
| 委員(教育長職務代理者) | 上地 玲子      |
| 委員(教育長職務代理者) | 服部 俊也      |
| 委員           | 松田 欣也      |
| 委員           | 梶谷 俊介      |
| 委員           | 田野 美佐      |
| 教育次長         | 浮田 信太郎     |
| 教育次長         | 梅崎 聖       |
| 学校教育推進監      | 川上 慎治      |
| 教育政策課        | 課長 大西 治郎   |
|              | 副課長 有田 純子  |
|              | 総括主幹 石崎 貴史 |
| 財務課          | 課長 遠藤 圭一   |
| 高校魅力化推進室     | 室長 室 貴由輝   |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 附議事項  
(1) 岡山県教育委員会規則の一部改正等について
- 6 報告事項  
(1) 令和4年度11月補正予算(追加分)について  
(2) 進学希望状況第一次調査結果について  
(3) 高校生探究フォーラム2022について

## 7 議事の概要

### 開会

#### 非公開案件の採決

##### (教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

##### (委員全員)

(特になし)

##### (教育長)

特にないようなので、直ちに審議に入る。

#### 附議事項（1）岡山県教育委員会規則の一部改正等について

- ・教育政策課長から資料により一括説明

##### (教育長)

これより採決に入る。議第 17 号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

##### (委員全員)

挙 手

##### (教育長)

全会一致により、議第 17 号は原案のとおり決した。

#### 報告事項（1）令和 4 年度 1 1 月補正予算（追加分）について

- ・財務課長から資料により一括説明

##### (委員)

スクールバスの増便については、コロナ対策の予算と考えてよいか。

##### (財務課長)

そのとおりである。コロナ対策として、密を避ける観点から、バスの定員に対する乗車率が 50%以上となるスクールバスについて、今後も継続して増便を行う。

##### (委員全員)

了 承

#### 報告事項（2）進学希望状況第一次調査結果について

- ・高校魅力化推進室長から資料により一括説明

**(委員)**

進学別希望状況のうち「その他」は何に該当するのか。

**(高校魅力化推進室長)**

進学も就職も希望しない生徒や高等技術専門校、専修学校に進学を希望する生徒の割合である。

**(委員)**

私立の比率の減少幅が大きい。県立定時制も進学が多様化が進んでいる影響もあると考えるが、希望者が前年比で39名も増加している。また、「就職のみを希望する者」も前年比で増加しているが、経済環境がコロナ等で厳しい家庭が増えてこれらの割合が増加しているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

現時点では経済的な理由により顕著な影響を受けているとは考えていない。全体として広域通信制が伸びていることは認識しているが、私立の割合が減っている理由として、就学支援金が支給されても施設利用費等が高い実態が認識されはじめた影響と考えている。

**(教育長)**

資料2ページにあるとおり、年々県外の私立通信制の割合が増えている。広域通信制のサポート校は増えているが、学びが続かない生徒もいることが課題である。

**(委員)**

学校の存続はともかく定員を満たさない学科は再編を検討しなければならないのではないか。

**(高校魅力化推進室長)**

生徒が第2希望については学びの内容で選んでいない場合がある。中学校までの進路指導や高校からの学びのメッセージをしっかりと伝えることが課題であるとする。また、社会の変化でジョブ型雇用も増加しており、それに対応した学びの在り方もしっかりと研究する必要がある。

**(委員)**

学びの在り方について具体的に何を研究する必要があるのか。

**(高校魅力化推進室長)**

学習指導要領で定められたものに加えて、世の中の変化や学校で教えていること、生徒の希望などがマッチしているのか研究する必要があると考える。

**(委員)**

進学希望の割合の高い学科や傾向は何か。

**(高校魅力化推進室長)**

岡山工業高校では情報の分野は今後の期待感から伸びている。また、デザイン

の学科はデザイン思考という言葉もよく使われるようになり伸びている。

**(委員)**

高校生はどこで学校の情報を得ているのか。

**(高校魅力化推進室長)**

これまでは学校案内やオープンスクールでしか学ぶ内容を調べることができなかったが、現在は1人1台端末を活用し、「おかやま県立高校情報ナビ」などで調べることができ、以前より容易に情報を収集することができる。

**(委員)**

普通科の募集定員に対する割合の「1.13」についてはどう受け止めればよいか。

**(高校魅力化推進室長)**

中学校の延長線上、大学進学というイメージが強く、倍率としては大きく変化していない状況である。また、普通科高校の割合は全国では7割に対して、本県は55%と普通科高校の割合が低く、専門科高校に進学する生徒が多い。

**(委員)**

募集定員が減った学校においても進学希望が増えていない。どう捉えているか。

**(高校魅力化推進室長)**

中学校の進学指導や塾の講師等が様々な方面で研究していると思われるが、現時点では一次調査であり、今後の状況を注視してまいりたい。

**(委員)**

特別選抜者入学の割合が増えたこともあり、特別選抜者入学に合格できなかった生徒は私立に流れていくのではないか。

**(高校魅力化推進室長)**

特別入学者選抜の受検を希望する生徒は増えており、第1志望を私立としていたが県立に切り替えた生徒が増加したのではないかと考えている。一般入学者選抜では、多少なりとも私学へ流れる傾向はあると思われるが、特別入学者選抜の募集定員を増やすことで県立に受かりやすいと考える場合もある。高校には学区の中学校へしっかりと働きかけるように伝えてまいりたい。

**(委員)**

中学生が夢を持てるような指導や働きかけを早い段階から取り組んでもらいたい。

**(委員)**

塾の県立学校に対する理解が進んでいないことも影響している。人気のある私立学校の取組も分析してもよいと考える。県立学校はどの地域においても一定の学びを受けることができるよい制度であり、アプローチの仕方を検討してほしい。

**(高校魅力化推進室長)**

塾に対する広報については各校においても動き出したところであり、県教委も

研究してまいりたい。

**(委員)**

希望倍率は各校でかなり差はあるが、高校生探究フォーラム等を見る限り、学校での学びにそこまで差があるとは思えない。高校生が中学生にアピールしてもらおう観点が重要であり、高校生探究フォーラムも中学生や中学校の教員に来てもらい、しっかりアピールしていく必要があるのではないかと考える。

**(高校魅力化推進室長)**

高校生探究フォーラムも各市町村教委から各中学校へ周知を依頼しているが、依頼して終わりというような状況もある。おかやま学びたい賞と高校生探究フォーラムをリンクさせるなどの工夫を行う予定だが、案内の仕方を検討してまいりたい。

**(委員全員)**

了 承

**報告事項（３）高校生探究フォーラム２０２２について**

**・高校魅力化推進室長から資料により一括説明**

**(委員)**

前の議題で高校生探究フォーラムを中学生にもっと PR する必要があるという意見があったがどんなアプローチをしたのか。

**(高校魅力化推進室長)**

市町村教委を經由して各校へ周知依頼をしている。

**(委員)**

どの地域からの参加が多いのか把握できるのか。

**(高校魅力化推進室長)**

これまではコロナの影響もあり、大々的に開催ができておらず、今回が初めての参加型のフォーラムとなるためこれまでの傾向から分析はできない。広報については課題を感じており、次年度についてもしっかりと検討してまいりたい。

**(委員)**

押しつけはできないが、フォーラムの視聴を中学校が冬休みの宿題として利用するような働きかけをしても面白い。

**(教育長)**

高校へ進学すると探究活動は避けて通れない。中学校の探究活動はまだまだであり、まずは中学校の教員に見てもらいたいと考えている。

**(委員全員)**

了 承

閉会